



みんないいひと体験講座 メニュー一覧

☆例示する体験メニューは全て1回の授業で行う場合を想定しています。

☆原則、講話と体験をセットとして正味90分程度となります。

1 肢体不自由者（車いす利用者）の理解

名 称	肢体に障がいのある方の講話		No.1
内 容	肢体に障がいのある方から生活上の体験や児童・生徒にできるお手伝いについてお話をいただきます。		
適正な体験人数	全校児童・生徒でも可	体験に要する時間	30分程度
担当団体・個人	市内在住の肢体障がい者(車いす利用者)		
会 場	1階の教室もしくは体育館 ※ 控室を含めて1階で開催してください。		
必要な備品 注意事項等	① 車いす体験・ハンディキャブ・ボランティア号体験との併用も可能です。 ② 送迎をお願いする場合があります。 ③ 講師によってはビデオやプロジェクター等を使用する場合があります。		
謝 礼	講師1名あたり 1,000円～5,000円程度の現金もしくは金券		

名 称	車いす体験		No.2
内 容	車いすで学校内や近隣を通ることや簡単な介助の体験をもとに身近なバリアフリーについて考えます。		
適正な体験人数	40人以下	体験に要する時間	60分以上
担当団体・個人	市社協職員もしくは地域で福祉活動を行っているボランティア等 1～3人		
会 場	体育館もしくは校庭・学校外周 ※ 雨天の場合を考慮し、体育館または室内（例…1階の渡り廊下や教室）を必ず確保してください。		
必要な備品 注意事項等	① 車いす20台（市社協管理備品） ※ 車いすは2人に1台必要です。 ② 段差・スロープ・波状路（市社協管理備品） ③ 体育館の場合、マット（大きめのもの）6枚～8枚（学校準備） ※ 縦に3～4枚×2列に敷いてください。 ④ 体育館・室内の場合、布ガムテープ（学校準備） ⑤ 動きやすい服装でお願いします。		
謝 礼	講師1名あたり 1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券		
その他	車いすのみを貸し出し、先生が指導する方法もあります。 （この場合、車いすの運搬は学校の先生にお願いしています。） その際は、指導法の冊子・DVD等も貸し出しています。（事前貸出可）		

1 肢体不自由者（車いす利用者）の理解

名 称	ハンディキャブ・ボランティア号体験		No.3
内 容	<p>障がいのある方の移動支援を行っているハンディキャブ・ボランティア号（車いすのまま乗れるリフト付きワゴン車）の体験から、市民の手によるボランティア、バリアフリーへの取り組みについて学びます。</p> <p>※ また、体験後に車両購入のための積み立てを行う支援を目的とした使用済み切手収集等の取り組みも可能です。</p>		
適正な体験人数	20人以下	体験に要する時間	60分以上
担当団体・個人	特定非営利法人 相模原ボランティア協会 （ボランティア団体） ホームページ http://sagamiva.wordpress.com/	講師名	2人
会 場	教室と屋外(雨天等は体育館や校内等) ※ はじめにビデオもしくはDVDを上映いたしますので、上映が可能な部屋の用意をお願いします。		
必要な備品 注意事項等	① ハンディキャブ・ボランティア号（ボランティア協会所有車両） ② ビデオデッキもしくはDVDデッキ・テレビ（学校準備） ③ 障がいのある方への運行予定日は対応できません。		
謝 礼	講師 1人あたり 1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券		

2. 視覚障がい者の理解

名 称	視覚に障がいのある方の講話		No.4	
内 容	視覚に障がいのある方から生活上の体験や児童・生徒にできるお手伝いについてお話をいただきます。			
適正な体験人数	全校児童・生徒でも可	体験に要する時間	20分～60分	
担当団体・個人	市内在住の視覚障がい者	講師数	1人	
会 場	教室もしくは体育館			
必要な備品 注意事項等	<p>① 送迎の必要がありますので、学校側で講師の方との調整をお願いします。</p> <p>② 視覚障がい者の理解についての体験（No.5～8）との併用も可能です。 例＞全員で講話を20分～30分聞いた後に誘導・点字などのコースに分かれて体験を行う。</p> <p>③ 盲導犬利用者の講話を希望される場合は希望日の2ヶ月以上前に相談ください。（市内の盲導犬利用者が数名と限られており、お仕事の関係等で日程調整が難しいのが現状です）</p>			
謝 礼	講師1人あたり 1,000円～5,000円程度の現金もしくは金券 ※ 金券の場合、図書カードは避けてください。			

名 称	視覚障がい者誘導體験		No.5	
内 容	2人1組で、ガイドする側とガイドされる側（アイマスク着用）を交互に体験し、体験を通して身近なバリアフリーについて考えます。			
適正な体験人数	40人以下	体験に要する時間	60分以上	
担当団体・個人	ささの会（ボランティア団体）	講師数	2～4人	
会 場	教室と校庭・学校外周（雨天等の場合、校内等） ※ はじめにビデオもしくはDVDを上映いたしますので、上映が可能な部屋の用意をお願いします。			
必要な備品 注意事項等	<p>① ガイド体験セット（市社協管理備品） アイマスク・白杖他・・・運搬にご協力をお願いします。 アイマスクで使用するハンカチ・ティッシュ（児童・生徒準備）</p> <p>② ビデオデッキもしくはDVDデッキ・テレビ（学校準備）</p> <p>③ <u>当日までにささの会の方（1～2人）が学校を訪問し、打合せを行います。</u> ※ 毎月第2火曜日は対応できません。</p>			
謝 礼	講師1人あたり 1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券			

2. 視覚障がい者の理解

名 称	視覚障がい者点字体験			No.6
内 容	点字の読み書きの体験から、視覚障がい者の生活や情報のバリアフリーについて考えます。			
適正な体験人数	30人以下	体験に要する時間	60分以上	
担当団体・個人	相模原市点訳赤十字奉仕団（ボランティア団体）	講師数	2人	
会 場	一般教室			
必要な備品 注意事項等	① 点字器は1人1台を学校で必ず用意してください。体験人数分がそろわない場合は、近隣の学校間の貸し借りで必ず用意してください。 ② 点字用紙（特厚の用紙で代用可）を1人1枚以上用意してください。 ③ 点字資料は社協に原紙がありますので当日までに人数分印刷してください。 ※ 木曜日は対応できません。			
謝 礼	講師1人あたり1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券			

名 称	録音（音声訳）体験			No.7
内 容	視覚障がい者への支援活動である録音（音声訳）活動の体験から、視覚障がい者の生活や情報のバリアフリーについて考えます。			
適正な体験人数	30人以下	体験に要する時間	60分以上	
担当団体・個人	相模原市録音奉仕会（ボランティア団体）	講師数	2人	
会 場	一般教室			
必要な備品 注意事項等	① 録音活動体験用機材・・・事前貸出、当日返却になります。 （あじさい会館に取りに来ていただきます） ② 録音奉仕会パンフレット・・・当日、配布してください。			
謝 礼	講師1人あたり1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券			

名 称	視覚障がい者スポーツ体験			No.8
内 容	視覚障がい者と健常者がともに楽しむことができるブラインドテニスや卓球等を体験し、障がい者スポーツ支援のボランティアについて考えます。			
適正な体験人数	30人以下	体験に要する時間	60分以上	
担当団体・個人	視覚障がい者、個人ボランティア	講師数	3人	
会 場	体育館もしくは一般教室			
必要な備品 注意事項等	① アイマスクで使用するハンカチ・ティッシュ（児童・生徒準備） ※ 体験で使用する機材を事前貸出・当日返却する場合があります。 （けやき体育館に取りに来ていただきます。） ※ 火曜日・木曜日は対応できません。小学生のみ対応。			
謝 礼	講師1人あたり1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券 ※ 視覚障がい者の方への謝礼が金券の場合、図書カードは避けてください。			

2. 視覚障がい者の理解

名 称	パソコン音声ソフト体験		No. 9
内 容	障がいのある方の講話を聞いた後、視覚障がい者が使用する音声読み上げソフト等、支援ソフト・機器などを用いてパソコンの体験をすることにより、障がい者の情報保障やコミュニケーション、バリアフリーについて考えます。		
適正な体験人数	30人以下	体験に要する時間	90分以上
担当団体・個人	パラボラ相模原（ボランティア団体） ホームページ http://www.parabora-sagamihara.jp/	講師数	6～7人
会 場	パソコンルーム等		
必要な備品 注意事項等	<p>① 学校のパソコン使用やノートパソコン持ち込み等の準備があるために、事前に数回の打合せが必要です。</p> <p>② ヘッドホン・イヤホンが人数分必要です。（学校もしくは生徒準備）対応は原則として1ヶ月に1校となります。</p>		
謝 礼	講師1人あたり1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券。または相談により団体に対して5,000円以上の現金		

3. 聴覚障がい者の理解

名 称	聴覚障がい者とのコミュニケーションー1		No.10
内 容	聴覚に障がいのある方の講話、簡単な手話、要約筆記について学び、聴覚に障がいのある方と一緒にコミュニケーションの方法について考えます。		
適正な体験人数	30人以下	体験に要する時間	90分以上
担当団体・個人	相模原市聴覚障がい者協会 手話通訳者 筆記通訳サークルもみじ	講師数	6人：聴覚障がい者2人 手話通訳者1人 要約筆記者3人
会 場	一般教室（2教室必要）		
必要な備品 注意事項等	<p>① 講話20分・手話50分・要約筆記20分の合計90分の授業となります。 ※ 手話・要約筆記について短時間ではありますが、参加者全員が学べます。</p> <p>② 要約筆記では、OHC（市社協管理備品）、スクリーン（TV 代用可）、ロールペーパー（講師持参）を使用します。</p> <p>③ 要約筆記ではマジックペンとA4用紙3枚を人数分用意してください。</p> <p>④ 手話の教室には受講人数分のイスを用意してください。机は置きません。要約筆記の教室には机・イスを用意してください。</p> <p>⑤ ②～④については、講師との打合せ時に再確認してください。</p> <p>※ 木曜日は対応できません。</p>		
謝 礼	講師1人あたり1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券		

名 称	聴覚障がい者とのコミュニケーションー2		No.11
内 容	聴覚に障がいのある方の講話、簡単な手話、要約筆記について学び、聴覚に障がいのある方と一緒にコミュニケーションの方法について考えます。		
適正な体験人数	60人以下	体験に要する時間	90分以上
担当団体・個人	相模原市聴覚障がい者協会 手話通訳者 筆記通訳サークルもみじ	講師数	6人：聴覚障がい者2人 手話通訳者1人 要約筆記者3人
会 場	一般教室（2教室必要）		
必要な備品 注意事項等	<p>① 講話30分を60人で聞いた後、手話コースと要約筆記コースに分かれ、それぞれ60分の合計90分の授業となります。 ※ 手話・要約筆記について多くの時間をとって学ぶことができます。</p> <p>② 要約筆記では、OHC（市社協管理備品）、スクリーン（TV 代用可）、ロールペーパーを使用します。</p> <p>③ 要約筆記ではマジックペンとA4用紙3～4枚を人数分用意してください。</p> <p>④ 手話の教室には体験人数分のイスを用意してください。机は置きません。要約筆記の教室には机・イスを用意してください。</p> <p>⑤ ②～④については、講師との打合せ時に再確認してください。</p> <p>※ 木曜日は対応できません。</p>		
謝 礼	講師1人あたり1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券		

3. 聴覚障がい者の理解

名 称	聴覚に障がいのある方の講話		No.12
内 容	聴覚に障がいのある方の生活上の体験やコミュニケーションの方法についてお話をさせていただきます。		
適正な体験人数	全校児童・生徒でも可	体験に要する時間	20～60分
担当団体・個人	相模原市聴覚障がい者協会 手話通訳者 筆記通訳サークルもみじ	講師数	5人：聴覚障がい者2人 手話通訳者1人 要約筆記者2人
会 場	体験人数が集まって話を聞ける場所(校内)		
必要な備品 注意事項等	※ 木曜日は対応できません。		
謝 礼	聴覚に障がいのある方には3,000円～5,000円程度、手話通訳者には1人4,000円、要約筆記者には1人3,500円の現金もしくは金券。		

4. 重複障がい者への理解

名 称	盲ろう体験			No.13
内 容	視覚及び聴覚に障がいのある方の疑似体験を通して、盲ろう者とのコミュニケーションについて考えます。			
適正な体験人数	30人以下	体験に要する時間	90分以上	
担当団体・個人	個人ボランティア（盲ろう者・通訳者）	講師数	3～5人	
会 場	一般教室			
必要な備品 注意事項等	<ul style="list-style-type: none"> ① 体験人数分のアイマスク（市社協備品貸出可）が必要です。 ② 事前に資料をお渡ししますので、人数分の印刷をお願いします。 ③ ビデオを上映する場合があります。ビデオ上映ができる会場をご用意ください。 ④ 機材（ヘッドホン、デジタルオーディオプレイヤー等）は、事前貸出・当日返却になります。（あじさい会館に取りに来ていただきます。） 			
謝 礼	講師 1 人あたり 1,000 円～2,000 円程度の現金もしくは金券			

5. 高齢者の理解

名 称	認知症についての講話		No. 14
内 容	市内で認知症について活動している団体の方から高齢者との接し方や自分たちにできることについてお話をいただきます。		
適正な体験人数	全校児童・生徒でも可	体験に要する時間	30分程度
担当団体・個人	特定非営利法人 Link・マネジメント ホームページ http://link-npo.com/		
講師数	体験人数によって変更します。		
会 場	教室もしくは体育館		
必要な備品 注意事項等	パソコン・プロジェクター・スクリーンをご用意ください（準備できない機材がある場合はご相談ください）		
謝 礼	講師1人あたり1,000円～2,000円程度もしくは団体に対して3,000円以上程度の現金		

名 称	認知症サポーター養成講座		No. 15
内 容	市内で認知症について活動している団体の方からのお話や疑似体験を通して高齢者との接し方や自分たちにできることについて考えます。		
適正な体験人数	100人以下	体験に要する時間	90分以上
担当団体・個人	認知症サポーターネットワーク@さがみはら ホームページ http://sagasapo.com/		
講師数	体験人数によって変更します。		
会 場	教室もしくは体育館		
必要な備品 注意事項等	<p>① パソコン・プロジェクター・スクリーンをご用意ください（準備できない機材がある場合はご相談ください） ない場合は用意しますのでご相談ください。</p> <p>② 後半はグループワークを行います。</p> <p>③ 事前に講師の方が学校を訪問し、打合せを行います。その際、内容を考えることが可能です。</p> <p>④ 複数の学年にまたがる形はさけて下さい。</p>		
謝 礼	講師1人あたり交通費程度の現金もしくは金券		
その他	受講者は認知症サポーターとして認定されその目印となる「オレンジリング」をお渡しします。		

5. 高齢者の理解

名 称	高齢者疑似体験	No. 16
内 容	高齢者疑似体験セット（エルダー・トライ）を通して高齢者との接し方やどのように配慮することが大切なのかを考えます。	
適正な体験人数	40人以下	体験に要する時間 60分以上
担当団体・個人	学校の先生	
会 場	一般教室もしくは校庭・学校外周	
必要な備品 注意事項等	① 高齢者疑似体験セット（エルダー・トライ）…市社協管理備品 ② 視覚・聴覚等に関する日用品（学校準備） 例>>新聞紙、本（教科書でも可）、ラジオ、カセットデッキ等	
その他	市社協にて体験セットと指導の手引（事前配布可）をご用意しています。 原則として、体験セットのみを貸し出し、先生が指導することになります。 体験だけでなく、他講座の講話とセットにすることもできます。	

6. その他、ボランティア活動等への理解

名 称	パソコンボランティア体験			No.17
内 容	障がいのある方の講話を聞いた後、視覚障がい者が使用する音声読み上げソフト等、支援ソフト・機器などを用いてパソコンの体験をすることにより、障がい者の情報保障やコミュニケーション、バリアフリーについて考えます。			
適正な体験人数	30人以下	体験に要する時間	90分以上	
担当団体・個人	特定非営利活動法人パラボラジャパン ホームページ http://parabolajapan.com/	講師数	6～7人	
会 場	パソコンルーム等			
必要な備品 注意事項等	① 学校のパソコン使用やノートパソコン持ち込み等の方法があるために、事前に数回の打合せが必要です。 ② ヘッドホン・イヤホンが人数分必要です。（学校もしくは生徒準備） ③ 対応は原則として1ヶ月に1校となります。			
謝 礼	講師1人あたり1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券。または相談により団体に対して5,000円以上の現金			

名 称	地域ボランティアによる講話			No.18
内 容	子どもたちが生活する地域で活動しているボランティアの方のお話を伺い、身近な地域でのボランティア活動についての理解を深めます。			
適正な体験人数	全校児童・生徒でも可	体験に要する時間	20分～60分	
担当団体・個人	市内で活動するボランティアの方	講師数	1～3人	
会 場	教室もしくは体育館			
必要な備品 注意事項等	資料等の配布や掲示等について事前に講師の方々と打合せをお願いします。			
謝 礼	講師1人あたり1,000円～2,000円程度もしくは団体に対して3,000円以上程度の現金もしくは金券			

名 称	ホームレス支援団体の方の講話			No.19
内 容	相模原市内でのホームレスを支援している団体の方々のお話を聞き、市内のホームレス支援の現状と人権について考えます。			
適正な体験人数	全校児童・生徒でも可	体験に要する時間	45分以上	
担当団体・個人	木曜パトロールの会（ボランティア団体）	講師数	1～3人	
会 場	教室もしくは体育館			
必要な備品 注意事項等	資料等の配布や掲示等について事前に講師の方々と打合せをお願いします。			
謝 礼	講師1人あたり1,000円～2,000円程度の現金もしくは金券			

6. その他、ボランティア活動等への理解

名 称	災害時活動体験			No.20
内 容	地震等大規模災害時に行うボランティアの方々の話を伺い、災害時のボランティア活動の実際と災害時に実施される活動を体験することにより、災害時及び災害時に向けた日常の活動について考えます。			
適正な体験人数	40人以下	体験に要する時間	90分以上	
担当団体・個人	相模原災害ボランティアネットワーク (ボランティア団体)	講師数	5~6人	
会 場	教室 と 校庭（晴天時）もしくは体育館（雨天時）			
必要な備品 注意事項等	① 備品（ブルーシートやロープ等）は、事前貸出、当日返却になります。（あじさい会館に取りに来ていただきます。） ② はじめにビデオを上映しますので、ビデオ上映が可能な教室の準備をお願いします。			
謝 礼	講師 1 人あたり 1,000 円~2,000 円程度の現金もしくは金券			

名 称	赤い羽根共同募金についての講話			No.21
内 容	日ごろ、ご協力いただいている赤い羽根共同募金について、その仕組みや使い道について説明を行います。			
適正な体験人数	全校児童・生徒でも可	体験に要する時間	45分以上	
担当団体・個人	神奈川県共同募金会相模原市支会	講師数	1人	
会 場	教室もしくは体育館			
必要な備品 注意事項等	① ビデオを上映しますので、ビデオ上映が可能な教室の準備をお願いします。 ② 募金活動の準備実施期間の9月~12月は対応できない場合があります。			
謝 礼	不要。			

名 称	地雷廃絶についての講話			No.22
内 容	地雷被外によって障がいを感じる子どもの状況等、地雷問題の現状や世界の廃絶活動について学ぶ機会を提供します。（生徒・学生の事務局訪問も受け入れていきます）			
適正な体験人数	全校児童・生徒も可。	体験に要する時間	60分以上	
担当団体・個人	地雷廃絶日本キャンペーン http://www.jcbl.jp/	講師数	1~2人	
会 場	教室もしくは体育館			
必要な備品 注意事項等	① 申込みは直接団体にお申し込みください。（ホームページ・電話・FAXから申込みできますが、詳しくは下記の電話にてお問い合わせください。） 電話 03-3834-4340（月~金曜日 午後1時~5時） ② 資料等の配布や掲示等について事前に講師の方々と打合せをお願いします。			
謝 礼	謝礼は、原則講師 1 人につき 1 万円としていますが、予算に応じてご相談に応じられる場合もあります。			

6. その他、ボランティア活動等への理解

名 称	福祉の仕事についての講話		No. 22
内 容	<p>市内の福祉施設職員が実際に学校を訪れ、福祉の仕事の魅力を伝える出張授業を行います。</p> <p>将来の職業選択として福祉の仕事を考えていただくとともに、働くということの大切さ、責任、そして仕事を通して得られる、やりがい等の生の声を伝え、将来の職業観を育む機会となります。</p>		
適正な体験人数	30人程度	体験に要する時間	約50分
担当団体・個人	高齢・障がい・保育施設で働く職員	講師数	1~2人
会 場	一般教室		
必要な備品 注意事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン、プロジェクター、スクリーンをご用意ください。 ※ご用意いただけない場合はご相談ください。 ・授業実施希望日の3ヶ月以上前にご連絡をお願いします。 ・講座終了後にアンケートの記入にご協力いただきます。 		
謝 礼	不要		